



TSURUSAKI TECHNICAL HIGH SCHOOL 社会とつながる 鶴崎工業

「個性」+「創意」=鶴工文化祭

11月5日夕刻の前夜祭花火で幕を開け、6・7日の2日間で文化祭を行いました。生徒会と文化祭実行委員が中心となり、今年も鶴工(工業高校)らしい、創意工夫に溢れ、全力で楽しむ文化祭になりました。初日の体育館ステージは、書道パフォーマンスでテーマが発表され、生徒会長と実行委員長の挨拶で始まりました。オープニング動画は、普段見ることができない先生方の仮装に爆笑し、クラスCMは各クラスの個性を楽しみました。クラス展示では、グランプリに輝いた機械科3年1組によるバイキングのアトラクションが圧巻でした。よくぞ教室の中にここまでものを建設したと言う技術力と、安全な乗り方の説明などホスピタリティも完璧でした。私も大いに楽しませてもらいました。



未来へつむぐ▶▶▶▶ 鶴工文化際

クラス展示には、先輩方から受け継いだアイデアや材料が活用されたものもありました。3M1のバイキングも先輩方から譲り受けた材料を有効活用したようです。建築科の精緻なリアル模型、産業デザイン科のハイクオリティなアート作品、化学や電気の技術を駆使したゲームなど、全ては紹介しきれませんが、学科の特長と伝統が確実につながっていることが分かりました。ステージ発表では、3年生MCがテンポ良く盛り上げ、学年を超えた一体感がありました。次代へとつむぐ文化祭を一生懸命リードした先輩、その背中を見ながら、「来年は更に盛り上がる文化祭にしたい」と思った後輩も少なくなかったのではないかでしょうか。



「ものづくり」って楽しい！

11月15日、O-Labo(体験型子ども科学館)主催の「鶴崎工業ものづくりフェス」を開催しました。40名近くの小学生を招待し、電気科、建築科、産業デザイン科がそれぞれのテーマでものづくり体験授業を実施しました。自主的に参加した者や課題研究のチームなど、「ものづくり」と「鶴工の魅力」を伝えたいと言う熱意を持ったメンバーです。各科の特色が表れた授業の内容や進め方は興味深く、共通していたのは、「ものづくりの楽しさ」を伝えると言う姿勢です。どの教室も、子どもたちの楽しそうな笑い声と、優しく丁寧に教えるお兄さん、お姉さんの姿がありました。どうすれば、安全に楽しく作業ができるか、生徒たちにとっても学びの大きな一日となりました。



涙の準決勝敗退、胸を張って未来へ

11月8日、国立を目指したサッカー部の挑戦は幕を閉じました。体調不良者が多く、満身創痍で臨みましたが、準決勝で鶴崎高校に敗れ、涙を呑みました。選手たちの無念さを思うと、言葉をかけることができませんでした。私が感じるサッカー部の強みは、ピッチに立たない選手も含め全員で戦うチーム力に加え、学校生活では率先して挨拶を励行し、学校行事を盛り上げるリーダーシップなど、鶴工を牽引する力です。3年生にとっては最後の大会となり、これから進路の準備に入ります。部活で培った経験を胸に、夫々の道で未来を切り拓いて欲しいと思います。